

かいわい

# やわたの自然界隈

## ～生物多様性からみる八幡の歴史～

令和8年  
5月9日(土)

参加費：無料

### 第1部 子ども自然観察会

対象

市内在住の小学生 定員15人  
※小学校1～4年生は保護者同伴要。

場所

集合・解散：さくらであい館

観察 満員御礼のため  
受付終了

時間

午前9時15分～午前11時45分  
※午前9時15分に集合してください。

注意事項

#### 小雨決行

※中止の場合は、5月8日(金)午後5時までに  
お申し込みいただいたメールアドレスに連絡  
します。

申込期間

4月6日(月)  
～4月24日(金)

第2部のみ5月6日(水・振休)まで  
申込期間延長

申込方法

#### 先着順

※右記二次元コードの市HP  
から、参加されたい部の  
申込フォームを  
選択のうえお申  
し込みください。



### 第2部 生物多様性セミナー

対象

小学生以上 定員50人程度

※市内外問わず。  
※小学生は保護者同伴要、同伴者は1人まで。

場所

さくらであい館 「淀」

時間

午後1時30分～午後4時

※午後1時15分から受付開始。

内容

1. 京都府南部の生物多様性
2. 男山と三川合流域の生物多様性
  - ① 八幡市の生物多様性が高い要因、その変化と保全の必要性
  - ② 八幡市の植物の多様性

【主催】 八幡市

【協力】

京都府

きょうと生物多様性センター

NPO自然観察指導員京都連絡会

(noi-Kyoto)

淀川河川公園管理センター

京都市青少年科学センター

【お問い合わせ】

〒614-8501

京都府八幡市八幡園内75

八幡市役所 環境政策課

電話：075-983-2795

E-Mail：kankyo@mb.city.yawata.kyoto.jp

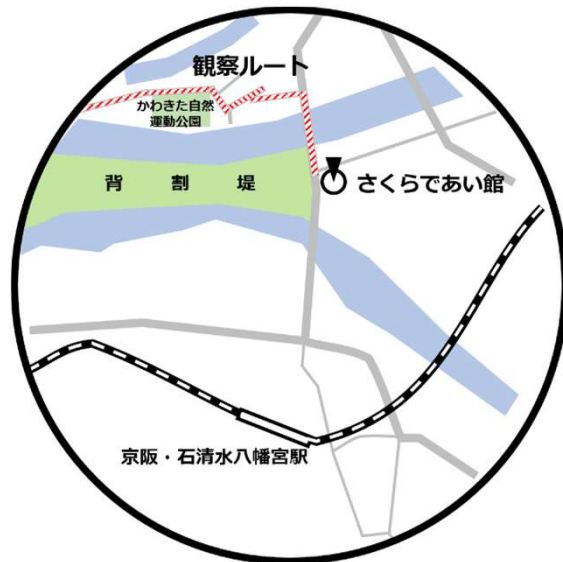
# はじめに

八幡市の石清水八幡宮が鎮座し神域として守り引き継がれてきた男山や、異なる3つの自然環境が合流する日本でもめずらしい三川合流域といった、貴重な生物多様性を市内外に広く知っていただくため、2部制でのイベントを開催いたします。

## 第1部 子ども自然観察会

三川合流域で多種多様な春の草花と昆虫などを講師の解説のもと観察する自然観察会を実施いたします。

- 講師 京都府希少野生生物保全推進員  
NPO自然観察指導員京都連絡会 (noi-Kyoto) 指導員
- 服装
- 長袖・長ズボン
  - 履きなれた運動靴
  - お持ちの方
  - 虫取り網
- 持ち物
- 帽子
  - 水筒
  - 雨具筆記用具
  - カメラ
  - 虫かご
  - 双眼鏡
  - ルーペ



※ 応募は先着順で、参加者には4月30日(木)までに案内をメールにて送付いたします。

## 第2部 生物多様性セミナー

### <趣 旨>

市では、市民の自然環境への関心と理解を高めることを目的として、1993年と2016年に生物多様性調査を行い、報告書「八幡のまちの小さな仲間たち」を作成してきました。

また、このたび、毎年市内小学校の児童に配付している「八幡のまちの小さな仲間たち2016」の概要版を、より八幡の自然環境に即し、生物多様性保全の観点からも学習できる内容に刷新しました。

近年、本市の自然環境は大きく変化し、生息する生物種の減少が危惧されます。このような状況を踏まえて、今後どのように本市の豊かな生物多様性を保全していくのかを考える機会として、刷新した概要版の内容に沿ったセミナーを開催いたします。

### <内 容>

#### 1. 京都府南部の生物多様性

中嶋 智子氏 (きょうと生物多様性センター チーフコーディネーター・京都府立大学生命環境科学研究科)

きょうと生物多様性センターでは、設立以前から京都府の委託研究で府内の生物データベース構築を始め、8年目になります。令和7年度末の登録件数は、10生物群9,381種462,429件で、そのうち八幡市の登録件数は2,600種16,977件です。これらのデータから、京都府の生物の多様性について府南部地域を中心にお話します。

#### 2. 男山と三川合流域の生物多様性

##### ① 八幡市の生物多様性が高い要因、その変化と保全の必要性

谷 壽一氏 (京都府希少野生生物保全推進員・かわきた生物保全ワーキンググループ 代表)

八幡市では3,600種以上の生物が確認され、その中に京都府RDB選定種が201種も含まれます。未調査のグループもあり、八幡市には5,000種以上が生息していると推定されます。この地域は、なぜ生物多様性が高いのか。どのような生物が生息し、30年間でどのように変化しているのか。またその保全の必要性について解説します。

##### ② 八幡市の植物の多様性

清水 正氏 (NPO自然観察指導員京都連絡会 (noi-Kyoto) 代表理事・京都府希少野生生物保全推進員)

八幡市には社叢として守られてきた男山、三川が合流する大きな河原の河畔林と草地、さらに旧巨椋池周辺としての田園地帯という様々な生態系がコンパクトにまとまり、多様な自然を残しています。しかし、……。

※ 応募は先着順で、参加者には4月30日(木)までに案内をメールにて送付いたします。